

令和2年 6月 1日

当院予防医学センターの人間ドック健診を受診された皆様へ

当センターでは、人間ドック健診の結果、紹介状を発行された検査項目がある受診者様の、精密検査受診状況に関する研究を行っています。

以下の内容をお読みいただき、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方で、ご質問がある場合、又はこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」という場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから受診者様の情報を削除できない場合がありますので、ご相談下さい。解析期間は2020年8月頃～9月末までを予定しております。

【対象となる方】

2018年4月1日～2019年3月31日の間に、当センターの人間ドック健診を受診され、本研究の対象となる検査項目で紹介状を発行された受診者様。

本研究の対象検査項目は、胃部レントゲン、胃内視鏡、子宮頸部細胞診、胸部レントゲン、胸部CT、マンモグラフィー、乳房超音波、便潜血、上腹部超音波、PSA、心電図、糖代謝としています。

【対象となる方の使用する情報】

- 受診日、●性別、●年齢、●居住地区、●職業の有無、●配偶者の有無
- 紹介状発行された検査項目、●検査判定、●受診先科、
- 健診当日の受診勧奨状況、●受診先病院からの返信の有無、●精密検査内容等

【個人情報の保護について】

この研究で使用するために得られたデータは、個人情報を削除し、個人を特定できないようにした上で厳重に管理します。この研究のデータが研究目的以外で使用されることはありません。

【研究課題名】

「精密検査受診行動に関連する促進要因と受診勧奨方法の検討

～精密検査受診勧奨時期の観点から～」

【研究の目的】

人間ドックの役割の一つは、疾病の早期発見や生活習慣病の重症化を予防するための受診勧奨業務である。当センターでは健診の結果、精密検査が必要な方に対して、人間ドック受診当日に結果面談、紹介状発行、医師や保健師による保健指導、受診勧奨の実施、結果郵送の方に対しては電話による受診勧奨を行っている。2017年12月頃からは、がん検診に関連する項目（胃部レントゲン、胃内視鏡、子宮頸部細胞診、胸部レントゲン、胸部CT、マンモグラフィー、乳房超音波、便潜血、上腹部超音波、PSA）、生活習慣病等に関連し重点的に受診勧奨を行っている項目（心電図、糖代謝）について追跡調査を行い、受診が確認できていない場合、3か月後、5か月後に電話や手紙による受診勧奨を実施している。しかし、当センターにおける各段階での受診勧奨の取り組みが、精密検査受診行動に実際どれだけ効果的なものとなっているか把握ができていない現状である。当センターのがん検診に関する精密検査受診率は2017年度79%だが、国のがん検診の各項目目標値とする精密検査受診率90%には達していない。

本研究では、紹介状を発行された方へのアンケート調査や、精密検査受診状況に関するデータを活用して、精密検査受診時期と促進要因を比較、分析を行う。現在当センターで実施している当日、後日の受診勧奨が、精密検査受診促進に効果的なアプローチとなっているのかを把握し、更なる精密検査受診率向上に繋がる受診勧奨方法について検討する。

【研究担当者】 野村病院予防医学センター保健師 赤川知佳 葛谷洋子

【問い合わせ先】 医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター

電話：0422-47-8811

受付時間：月～土曜日 8:00～16:45（日・祝祭日を除く）

なお、本研究は当院研究倫理委員会において、令和2年5月16日（審査番号R2-1）に承認され実施しています。